

5月31日(火)

私には責任がない

聖書朗読 マタイ 27:11~26

あなたがたに新しい戒めを与えましょう。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。 ヨハネ 13:34

自分が、ついで「手を洗いたい」(＝かかわり合いたくない)と思っている人とうんざりすることはありませんか？ 私はあります。

ピラトの解決法は「手を洗う」ことでしたが、でも、それで事態が解決するわけではありませんでした。イエス様は、ピラトに訴えた者たちの手によって十字架にかけられ、亡くなられました。

私たちはみんな、ある時点において「ピラトの瞬間」に直面します。それは、ある重要な選択肢についての責任を取るという選択です。子ども、家族、友人、同僚、キリストにある兄弟姉妹との関係で起ったことにかかわらず、そのような事態で自分が何をすべきかが重要です。私たちが教え導かれるとき、イエス様は実に単純明快な解決法をお持ちでいらっしゃいます。イエス様は『互いに愛し合いなさい』と言われます。もちろん、そこには『わたしがあなたがたを愛したように』というただし書きがあります。

人々が理解しなくても、イエス様は彼らをあきらめませんでした。人々が言い争い、互いに腹を立てても、イエス様は彼らをあきらめません。人々がイエス様を捨て、否定しても、イエス様は彼らをあきらめません。回収不能とみなして彼らを消すことはありません。イエス様はときには「心の中で深く嘆息」されることはありますが、私たちが決してあきらめられたり、かかわりをもたなくされることはないのです。

讃美歌 448

祈り 親愛なる主よ。自分次第であるなら、自分とは違う人たちと平安を捜し出せるように助けてください。それと同時に、すべての状況においてあなたの真を求めることができるように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ウイリアム・T・マッコーガン
オレゴン州 フィロマス

6月1日(水)

良い知らせ

聖書朗読 マルコ 1:40~45

良い知らせを伝える者の足は、山々の上にあつてなんと美しいことよ。平和を告げ知らせ、幸いな良い知らせを伝え、救いを告げ知らせ、「あなたの神が王となる」とシオンに言う者の足は、
イザヤ 52:7

たとえば新しい家族の誕生とか、望んでいた仕事に採用されるとか、初めてマイホームを買うとか、あまりにも良い知らせで、喜びのあまり体がバラバラになりそうになり、できることといたら、その良い知らせを他の人に言うことくらい……そんな嬉しい体験を最後にしたのはいつのことですか？ あるいは、自分の中に留めておけそうもない日常的なことは、どうですか？ たとえば、妥当な金額で良い仕事をする修理工を見つけたとか、新しいソファでゆったり過ごすとか、友人にお気に入りのブレンダーを勧めるなどです。

マルコはこのように書いています。一人のツァラトの人がイエス様のみもとにお願いに来て、癒されました。彼はあまりに感動して、イエス様の「だれにも何も言わないようにしなさい」という言葉に従うことができず、かえってこの出来事をふれ回り、言い広め始めました。彼が良い知らせをふれ回ったせいで、騒ぎが起り、イエス様は群衆から離れ、表立って町の中に入ることができなくなりました。

私たちは、今日、同じようにイエス様のみもとに近づく機会が与えられています。イエス様にあるバプテスマを授かり、新しい命を歩むなら、イエス様はツァラトの人の体を癒されたように、私たちの魂を癒してくださいます。イエス様の癒しを心から受け入れ、主とともに歩むことで平安、希望、喜びを知ったとき、どうしてそれを黙っていることなどできるでしょう！

讃美歌 247

祈り 親愛なる主よ。御子による救いという良い知らせをありがとうございます。この世におけるあらゆる試練や誘惑において、岩のうえにしっかりと立つことができますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジョエル・M・サクサパハウ
ノースカロライナ州 サクサパハウ

6月2日(木)

結果を信じる

聖書朗読 マルコ 3：20～30

けれども、善を行なっていて苦しみを受け、それを耐え忍ぶとしたら、それは、神に喜ばれることです。 Iペテロ 2：20

イエス様に敵対する者たちがイエス様について言ったひどいことを考えてみましょう。イエス様は、暴飲家や安息日を犯す者、あるいは冒涇者などとイエス様を批判する人たちがでっち上げたような者ではないことは明らかです。

おそらく最も悪意に満ちた発言は、イエス様が悪魔を追い出すサタン仲間であるという中傷でした。イエス様は、仮にそうだとしたら、サタンが自らに対して働きかけることになるかと穏やかに説明されました。そんなことはまったく意味を成しません。

イエス様は、私たちが不当な非難をされたときにどのように感じるかをご存知です。横暴な主人を持つクリスチャンの奴隷に向かって、ペテロはこう書いています。『あなたがたが召されたのは、実はそのためです。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を示されました。・・・ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず』(ペテロ I 2：21, 23)。では、イエス様はこのような品位をもって、あらゆる悪意をどのように扱われたのでしょうか？ イエス様は『正しくさばかれる方にお任せになりました。』(Iペテロ 2：23)。イエス様は、御父がイエス様に味方されて決着をつけられるということを真に信じていらっしゃったのです。

結果については神様に任せるということ、イエス様に働きかけました。それは、私たちのうちにも働きかけています。今度、私たちが不当な扱いをうけたとき、そのことを覚えることは価値のあることです。

讃美歌 第二編 140

祈り お父様。人々が私たちにひどいことをするとき、イエス様がなさったように対応することができますように助けてください。そして、イエス様を模範として、イエス様がなさったように、あなたを信頼することができますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

デヴィッド・ギブソン
テキサス州 コマース

6月3日(金)

うちなる神様のお働き

聖書朗読 マルコ 4：21～29

人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。 ヨハネ 15：5

イエス様が、柵の下や寝台の下に置かれたあかりについてお話になられた理由が、私にはわかります。ときどき光が足りないような感じがしますが、それは、恥ずかしさや罪の意識が、隠れ場所を捜し出すように私たちに働きかけているからです。神様が私たちのことをお造りくださったものとして保持してくださっていることが、不可能のように思われるときがあります。

しかし、神様はあなたが輝くことを望んでいらっしゃいます。神様のご計画は、神様の愛、あわれみ、優しさをあなたに注ぐことにあります。ですから、神様があなたにしてくださるように、あなたも人にするのです。

しかし、これはなかなか難しいことです。人間の能力では、神様がなさるようにはできませんし、人間の努力は種を育てることはできますが、それ以上のことはできません。私たちは種を蒔いて収穫します。苗の成長の過程にはかかわりますが、種にいのちを与え、成長させるのは神様がなさることです。

神様のおそばに引き寄せられるように努力するなら、私たちは変わります。時間の経過とともに、神様の美が私たちのうちで大きくなり、植物が時間の経過とともにゆっくりと成長するように、やがて実を結び、神様の素晴らしさが私たちのなかで大きく成長します。

神様の愛という光で、私たち心が輝き始めたとき、自分自身も自分がすることも、もはや隠すべきものではないことに気づくのです。

讃美歌 525

祈り 親愛なる神様。あなたが私たちを贖ってくださらなかったとしたら、私たちは恥ずかしさしか知らなかったでしょう。しかし、今は、私たちが知っているのはキリストだけです。キリストの素晴らしさが私の心のなかで成長するように。

イエス様の御名において。アーメン。

イーサン・ブラウン
ノースカロライナ州 ヘンダーソンビル

6月4日(土)

舟から降りなさい！

聖書朗読 マルコ 5：1～13

すべての人に、すべてのものとなりました。それは、何とかして、幾人かでも救うためです。 Iコリント 9：22

今日のメッセージのタイトルは「舟から降りなさい」ですが、イエス様が水の上を歩かれた話ではありません。今日の聖書の箇所では、イエス様がなされたことはもっとシンプルなことです。イエス様はガリラヤ湖の向こう岸に着かれ、舟を降りられました。イエス様が舟から上がられると、すぐに、イエス様の助けを必要としている人がやって来ました。彼は汚れた霊にとりつかれていました。イエス様がなされたわざのうち、その何回かは、舟から降りられることによって定義づけられます。イエス様は「本社」にいて、人々がイエス様を訪ねてくるのを待ってはいらっしやいませんでしたし、目立つ建物や構内におられて、そこから働きかけるということもなさいませんでした。イエス様は、ご自身の助けを必要としている人々の所へ自ら出かけられ、そして舟を降りられました。イエス様は人々の話に耳を傾けられ、ご自身が語りかけられ、そして人々を助けました。ペテロが使徒の働き10：38で『巡り歩いて良いわざをなし』と書いてある通りです。

舟のなかにいたり、自分がすでに知っている人たちに囲まれるのはラクなことです。また、私たちは、予測できなかつたり、居心地のよくない関わり合いを最小限にしがちです。それに対して、舟を降りることはやっかいなことです。しかし、イエス様がなされたのは、まさにそういうことなのです。

ですから、あなたは、イエス様の愛で祝福することができるかもしれない人たちから自分を隔離してはいけません。新しいことに出会い、初対面の人に話しかけましょう。舟から降りるのです。

讃美歌 402

祈り ああ主よ。私たちがイエス様のようにしてください。聖霊が私に平安と励ましのみことばを与えてくださることを信頼して、人々と交わりをもつ信仰を与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジャシュ・ボディ・ラフィエット
インディアナ州 ラフィエット

6月5日(日)

娘を見るより母を見よ

聖書朗読 マルコ 6：15～29

ところが、ヘロデヤはヨハネを恨み、彼を殺したいと思いながら、果たせないでいた。 マルコ 6：19

子どもが母親の悪いところを受け継いでいるのを見ると心が痛むものです。今日の聖書の箇所には、ヘロデヤは自分とヘロデの関係を不法だと言い張ったことでバプテスマのヨハネを軽蔑し、彼に恨みを抱いたと書いてあります。ヘロデヤの娘は、母親から幾度となくバプテスマのヨハネに対する恨みごとを聞き、それが彼女の心に深く染み込んでいったに違いありません。ですから、ヘロデが自分の誕生日に、ヘロデヤの娘が踊った踊りに大変喜んで、「何でも欲しい物を言いなさい。与えよう」と言ったとき、娘は母親を喜ばせて、母親のうんざりするような恨みごとを減らすために、「バプテスマのヨハネの首」が欲しいと言いました。娘は、母親の罪深い人生と執念深さによって墮落してしまいました。

子どもに「何を願いますか」と言われたとき、多くの母親はヘロデヤのような頼みごとをすることは無いと思います。しかし、文句の言葉や誰かに恨みを抱くことの影響について考えてみてください。あるいは、子どもや孫、その他の人によって聞かれている、みことばに従わない選択を普通のこととしてしまう影響はどうでしょう？ こういった言葉は、彼らの心に深く入り込んでいきます。そして、文句や恨みごとを言う私たちの歓心を買ったり、私たちの真似をするために、彼らもまたこのような有害な行動を選択するのです。

IIテモテ 1：5は、おそらく私たちに励ましてくれると思います。祖母と母の純粋な信仰は、子どもにみこころにかなういい影響を及ぼします。私たちは、自分の人生において、そのことを願っています。

讃美歌 452

祈り 親愛なる主よ。私たちの恨みや文句を赦してください。誠実に生き、まわりの人たちみんなにいい影響を残すことができる洞察力と知恵を与えてください。あなたに倣う者となれますように。

イエス様の御名において。アーメン。

スーザン・K・ギボニー
カリフォルニア州 マリブ